

目的／ゴール

工学を福祉分野に活かす
福祉工学・技術の向上

Making a opportunity to improve QOL by engineering

背景／問題

体系化が不十分、応用が不適切
現状把握・情報共有が足りない

Engineering is not used good enough in assistant technology.

戦略／方法

福祉関連学会・現場と協力
(障害者団体、理学療法士、作業療法士、義肢装具士など)
シンポジウム、見学会セミナー、情報交換会

Owing to various kinds of therapists or professionals, symposiums or seminars are held for getting common information.

活動計画／成果

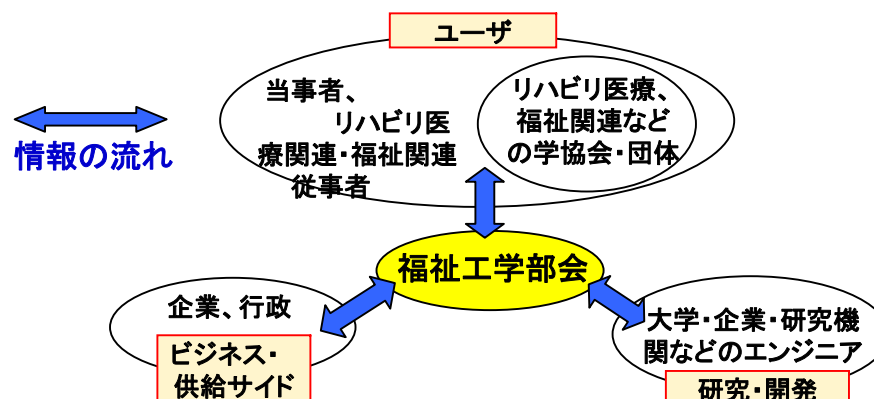
福祉工学部会のホームページで情報公開・好評
他部会などとの共催活動も進む

<http://www.sice.or.jp/~si-ae/>

Enlightenment of point of issues for enhancing QOL and extensive knowledge

主査:産総研 佐藤滋 (sato-s@aist.go.jp)

メンバー:榊泰輔(副主査), 小野栄一(幹事), 伊藤隆夫,
井上剛伸, 小野雄次郎, 梶谷 勇, 川路茂保, 渋谷恒司,
東嶋和子, 中村春基, 橋本亮一, 本間敬子, 松本 治, 吉川和徳



誰もが使いやすいバスへのシンポジウム & 試乗会

共催 ユニバーサルデザイン部会、自動化システム部会、他

後援 国土交通省、茨城県バス協会、つくば市、他

協賛 NPOバス保存会、関鉄観光バス(株)、関鉄自動車工業(株)



ロボットスーツHAL見学会セミナー
筑波大学 山海嘉之教授講演
共催 ポリオの会 参加119人



東大 生涯スポーツ健康科学研究センター見学会セミナー
小林寛道名誉教授講演、認知動作型トレーニング理論